



子どもも大人も一緒になって 稲刈りまつり

9月27日、多留姫文学自然の里の神田で、「稲刈りまつり」が開催されました。

当日は、子どもと大人合わせて約30人が参加し、全員で稲刈りを楽しみました。稲刈りまつりでは、鎌を使って昔ながらの手作業で稲刈りを行っています。刈り取った稲は、子どもたちが運び、大人たちがはぜかけしました。

今年も、昨年と同じくらい豊作なお米を収穫することができ、参加した方全員で、収穫の喜びを味わいました。



今年も開催！1年に1度の映画の祭典 小津安二郎記念・蓼科高原映画祭

9月20日～21日、第28回小津安二郎記念・蓼科高原映画祭が開催されました。20日には、新星劇場で、第24回短編映画コンクール表彰式が開催されました。

今年は、全国から寄せられた124作品の中から10作品がノミネートされ、当日は、10作品の中から、グランプリ、準グランプリ、入賞、一般審査員賞が発表されました。見事にグランプリを獲得したのは、田野聖子監督の「アノサ カアサン」で、同作品は一般審査員賞も受賞しており、ダブル受賞は史上初の快挙となりました。



人気メニューをいただきます 渋谷区と茅野市の給食コラボ

9月16日、東部中学校で、渋谷区の給食メニュー「揚げ魚のマーボーナスあん」が給食で提供されました。

渋谷区と茅野市は、災害時にお互いを助け合うための「災害時相互応援協定」を結んでいます。災害時以外にも様々な形で連携を進めることを目的に、学校給食の人気メニューなどを交換しました。

学校では、提供された給食を子どもたちが美味しそうに食べる様子が見られました。3月まで引き続き、市内各校で、コラボ給食が2回ほど提供される予定です。



統計を身近に感じ、必要性や重要性を知る 茅野市統計グラフコンクール表彰式

9月11日、市役所で、『茅野市統計グラフコンクール』の表彰式が行われ、金賞・銀賞に入賞した5名が表彰されました。

今年度は、応募作品27作品のうち、第1部（小学校1・2年）、第2部（小学校3・4年）、第3部（小学校5・6年）において、金賞2作品、銀賞3作品、佳作6作品が選ばれました。

金賞・銀賞を受賞した作品は、市のホームページからご覧いただけます。



練習に励んだ団員の大会受賞を報告 ポンプ操法大会・ラッパ吹奏大会の受賞報告

10月9日、市役所で、茅野市消防団の河西団長らが今井市長に、「令和7年度長野県ポンプ操法大会・ラッパ吹奏大会」の受賞を報告しました。

茅野市消防団では、今回の大会に出場するに当たって、上位大会への出場を希望する有志の団員で結成された「選抜チーム」を編成して大会に臨みました。

大会は、7月13日に長野市で開催され、今回は小型ポンプ操法の部とラッパ吹奏において、それぞれ準優勝を獲得しました。



マイナンバーカード活用で山小屋の課題解決に寄与 デジタル庁による実証実験が開始

10月6日、市役所で、デジタル庁が取り組む「自然公園エコシステム」の実証実験に関する発表が行われました。

同実験では、登山者はスマホを使って、事前にマイナンバーカードによる身元確認や登山計画書の提出、登山マナーの確認を行うことで発効された証明書を、連携するハケ岳と北アルプスの山小屋に提示して、ノベルティの獲得ができます。

実験結果は、登山計画書の提出率向上や遭難時の身元確認強化、募金やふるさと納税による登山道整備の協力金を集めるきっかけ作りに繋がるなど、多方面で期待が高まります。

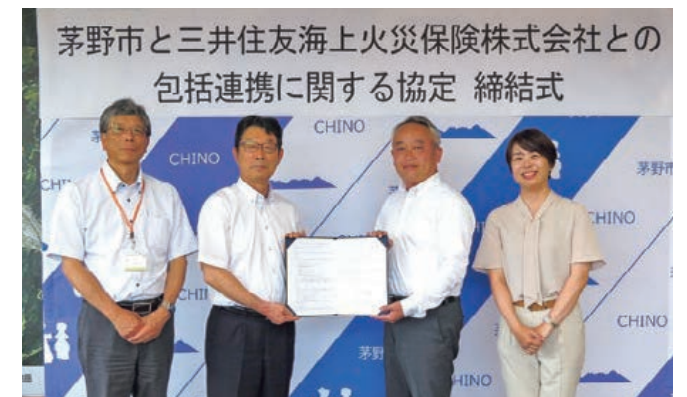


姉妹都市や地元の農水産物で活気づく 茅野市農業祭・JA信州諏訪農業祭

9月20日、茅野市運動公園で、「第35回茅野市農業祭・第21回JA信州諏訪農業祭」が開催され、農産物などを求めて訪れた多くの方で賑わいました。

販売開始前から、会場には多くの方が来場し、ブロッコリーやセルリー、リンゴなどの地元農産物やシャインマスカットやイワシなど姉妹都市産の農水産物を買求めにきた方が列に並びました。

その他、アンパンマンショーやアルパカふれあい体験なども開催され、幅広い世代が楽しむ様子が見られました。



地域の活性化と住民サービスの向上を目指して 三井住友海上火災保険株式会社との包括連携協定 締結式

9月18日、市役所で、三井住友海上火災保険株式会社と、SDGsの推進、防災、地域の安全・安心など計10項目における包括連携協定を締結しました。

同社とは、免許返納を検討中の高齢者を対象に、市のAI乗合オンデマンド交通「のらざあ」とタクシーを掛け合わせた交通手段による実証実験を12月末まで実施しており、今回の協定は、同実験を契機として締結されました。

協定をきっかけに、今後更なる連携が期待されます。